


| 十条北ブロック 第20回ブロック部会 議事要旨 | |
|--|---|
| 開催日時 | 平成30年11月1日(木) 14:00~15:30 |
| 開催場所 | 上十条五丁目町会会館 |
| 出席者 | <p>部会役員：松岡部会長、小菅副部会長</p> <p>事務局：北区 十条まちづくり担当課 石本課長、徳田主査、濱崎、小栗 十条駅西口再開発事務所 井越所長、山崎主査、鈴木</p> <p>コンサル：地域総合計画研究所 齋藤、三浦</p> <p>オブザーバー：北区 土木政策課 整備係 荒井係長、梶川</p> |
| 参加者 | 7名(部会役員を除く) |
| 議題等 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 前回のおさらい 3. 議題 <ul style="list-style-type: none"> ○防災ふれあい広場整備概要について 4. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ○十条駅西口駅前広場整備方針について ○地震に関する地域危険度測定調査について 5. 閉会 |
|  | |
| 【第20回十条北ブロック部会の様子】 | |
| <p>議事要旨</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>——十条北ブロック部会長あいさつ——</p> <p>本日は第20回の北ブロック部会ということで、お集まりいただきありがとうございます。上十条五丁目地内の防災ふれあい広場について、これまで議論を重ねてきましたが、防火貯水槽の搬入が難しいといったことも小耳にはさみました。そのあたりを踏まえた広場の整備概要やスケジュールについての説明のほか、十条駅西口駅前広場整備方針についての報告もありますので、皆様からご意見をいただければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>2. 前回のおさらい</p> <p>第19回ブロック部会において、Aグループ及びBグループから出された実施設計案に対する意見の概要を参加者全員で確認した。</p> | |

3. 議題

――防災ふれあい広場整備概要について――

北区土木政策課整備係より、防災ふれあい広場の整備概要や整備スケジュールについて説明した。

――質疑、意見等――

参加者：防火貯水槽を設置する目的はどこにあるのか。

北区：災害時だけでなく、日常の消防活動にも使えるもの。区の計画としては、理想は適切な距離をとって公園（広場）を配置し、そこに1つずつ防火貯水槽を設置していきたいと考えている。

参加者：消火栓もあるが。

北区：災害時、水道が供給できているとは限らない。貯水槽が設置できる場所では、できるだけ設置する方向で考えたい。

参加者：今年9月に工事着工予定だったものが、結局は来年4月着工になるということ。状況は理解したが、どうするかと問われても答えようがない。可能な範囲で、なるべく大きなものを設置してもらえればということになる。工種が多くてできないのであれば、一部をカットするということを考えるべきなのかもしれない。

北区：公園工事の工種としては、貯水槽設置のほか、マンホールトイレ、井戸ポンプ、植栽、水飲み、透水性ブロック舗装など、多様な施工業者が入ることになる。狭い敷地であるため同時に複数業者が現場に入ることができず、工事期間が長くなるということである。工事の工種をいくつかやめればそれだけ施工は容易となるが、しかし広場に植栽をまったく植えないというわけにもいかない。

参加者：これまで（昨年度）は「何が必要か、やりたいか」ということで議論を行ってきた。「何ができる」ということであれば、担当する業者と話し合っ決めてもらいたい。

北区：工事業者の入札辞退の理由を聞いてみたが、住宅が近接しており、今回の施工を行う敷地では深さ約4.5mの掘削が必要となり、そのことに対して会社としてリスクが大きいとのこと。

また、施工時期が年度末になり労務を確保できないということも理由となっている。

もう一点、公園の敷地面積に対して工種が多く、他工種とのラップ作業ができないため、実行予算が割高となるとのことであった。

参加者：できることが何なのかを、区から提示してもらいたい。住民側としてはそれで了解するしかない。

北区：設置可能な貯水槽の大きさや、「何ができるか」を工種に注目して検討した上でお示しすることとしたい。

4. 報告事項

北区より、以下2点についての報告を行った。

○十条駅西口駅前広場整備方針について

○地震に関する地域危険度測定調査について

-----質疑、意見等-----

○十条駅西口駅前広場整備方針について

参加者：駅前広場はいつできるのか。だいぶ先の話なのではないか。

北区：今年度中に設計を完了させ、平成31年度には着工予定である。昨年、再開発組合も設立しており、関係者の合意形成に向け動いているところである。

参加者：現在、赤羽駅前には「トレセン最寄り駅」であることをうたった標識がある。距離的には十条駅の方が近いため、そのあたりも頑張ってもらいたい。

参加者：駅前広場としての広さは現状並みなのか。

北区：車道の範囲は今の駅前広場に近い。それ以外に、歩行者ゾーンを広く設けている。再開発ビルも敷地いっぱい建つことはないため、さらに広い空間が出現することとなる。地下には自転車駐車場が設置されるので、それに合わせた植樹や使い方を考えている。

○地震に関する地域危険度測定調査について

参加者：十条北ブロックは、木造が多く道路が狭いということ。

参加者：上十条三丁目が進められているような「共同建替え」が他でもできればよいが。

北区：行政として声かけをすることはできるが、実際に合意が得られるかというところがある。

参加者：上十条五丁目は、個々の敷地がそれなりに広いように思う。

参加者：建て売りになると、広い敷地が分割されて狭くなる。2軒と見て見ていると3軒建つこともある。

参加者：セットバックしてくれるのであれば、それはそれでよい。

参加者：この地域は、耐震ブレーカーの配布対象となっていないことは疑問である。

5. 閉会あいさつ

-----十条北ブロック副部長あいさつ-----

長時間に渡り、いろいろとご意見をいただきありがとうございました。部会員から伝えたいことはすべてお伝えしましたので、あとは区の方にお任せしたいと思います。また次回ブロック部会に向け、今後ともよろしくお願ひします。本日は、ありがとうございました。